

ペットデンタルケア

～歯周病は万病の元～



犬と猫の歯



犬は、生後2～3週間で28本の乳歯が生えます。4か月頃には42本の永久歯に生え変わります。

統計によると、3歳までには80%の犬が何かしらの歯周病になると言われています。特に小型犬の歯は、口に比べて大きいので歯周病になりやすいです。



猫は、生後2～3週間で26本の乳歯が生えます。4か月頃には30本の永久歯に生え変わります。

統計によると、3歳までには70%の猫が何かしらの歯周病になると言われています。猫では、歯の頸部が溶けるネックリージョン（破歯細胞性吸収病巣）になることがあります。

歯周病の症状

歯肉の赤みや腫れ
出血、よだれ、口臭



くしゃみや鼻水、歯の動揺
痛みに伴う食欲低下



顔の腫れ
下あごの骨折

他の病気でも同様な症状が出るので、獣医師に相談して下さい。

口腔内検査

白色光



青色光



青い光を当てると目に見えない歯周病菌が赤い蛍光を発します

歯石
除去前

歯石
除去後



歯石をとってスッキリ！

